

# K 都筑の原風景をめぐり、あじさい緑道を歩くコース



**東方池の由来**  
 東方池は、かつては東方の農田を灌漑するための池であった。戦後、池の水が干涸び、現在は公園として整備されている。池の周囲には、桜や菖蒲などの花が咲き、春と夏の訪れを告げる。池の由来は、東方の農田を灌漑するための池であったことによる。池の水が干涸び、現在は公園として整備されている。池の周囲には、桜や菖蒲などの花が咲き、春と夏の訪れを告げる。

**東方池 由来の説明板**  
 東方池の由来は、かつては東方の農田を灌漑するための池であった。戦後、池の水が干涸び、現在は公園として整備されている。池の周囲には、桜や菖蒲などの花が咲き、春と夏の訪れを告げる。池の由来は、東方の農田を灌漑するための池であったことによる。池の水が干涸び、現在は公園として整備されている。池の周囲には、桜や菖蒲などの花が咲き、春と夏の訪れを告げる。

手前の道を左折する

六地藏の前の道を上がる

カーブミラーで右折



## 1 源東院

浄土宗、本尊は阿弥陀如来。開創年は天文2年(1533)で山門をくぐると正面に本堂があり、境内に延命地藏尊、六地藏、聖観音菩薩像が安置されている。また、赤い鳥居をくぐると寄棟造りの厨子の建物があり、日之出子安弁財天が祀られている。



## 2 源東院貝塚

昭和29年(1954)源東院の北側の台地の斜面上で貝塚が発見され、その大部分がニホンシジミ、ヤマトシジミの淡水産の貝であった。また源東院貝塚からは、黒曜石の鎌が数多く出土している。



## 3 東方天満宮

学問の神様として知られる菅原道真公を祀っている。ご神体は東帯姿の菅原道真公の坐像で東方領主の梶川忠榮が延享3年(1746)に再興した。社殿の改築記念に氏子が寄贈した紅梅、白梅の他、珍しい中国の梅が見事である。



## 4 原谷戸

東方町の龍雲寺近くにあつて、樅、櫻の大木、竹林、よく手入れされた生垣・庭園等があり、のどかな田園風景に小鳥のさえずりが聞かれ、落ち着いた集落の面影を残す。東方農業専用地区内には農家が点在し、昔の姿を彷彿させる。



## 5 龍雲寺

浄土宗、本尊は阿弥陀如来。開創年は天文24年(1555)で境内には桜、銀杏、観音堂の横には樹齢400年を越える菩提樹があり、その傍らに仏陀坐像が鎮座している。



## 6 都筑スポーツセンター

3つの体育室ではバスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球などが楽しめる。トレーニング室では目的にあったトレーニングが出来る。また、会議やミーティング、少人数のヨガやダンスに利用できる研修室もある。



## 7 JA横浜きた総合センター/メルカートきた

農業専用地区と港北ニュータウンの接点に位置するJA横浜の北部方面の総合センター。敷地内に併設する直売所「メルカートきた」には、四季折々の新鮮な農産物、植木、草花等が並ぶ。近くには、周囲を桜の木に囲まれたJA横浜きたの多目的広場もある。



## 8 あじさい緑道

6月中旬から下旬にかけて、JA横浜きた総合センターの北側を流れる、大熊川の新道下橋から、堀込橋までの約600mの斜面上に紫や白のアジサイが咲き、「あじさい緑道」と呼ばれている。

花暦	
1~2月	ロウバイ
1~2月	ソシンロウバイ
2月	ウメ
3月	ハクモクレン
4月	河津桜
4月	サクラ
4~5月	カキツバタ
4~5月	チューリップ
5月	ツツジ
5月	シバザクラ
5月	クロロウバイ
6月	スイレン
6月	アジサイ
7月	ハス
7月	サルスベリ
9月	ハギ
11月	キク展

  

A	中川八幡山公園
B	早淵公園
C	山田富士公園
D	福聚院
E	山田富士公園
F	最乗寺
G	真照寺
H	茅ヶ崎公園
I	中川八幡山公園、都筑中央公園、茅ヶ崎杉山神社、正覚寺、大塚・歳勝土遺跡公園、早淵川親水広場
J	在田小学校、山崎公園
K	神無公園
L	鎌田堂、東山田公園、山田富士公園、のちめ不動尊
M	瑞雲寺、川和八幡神社、川和町駅
N	川和富士公園、妙蓮寺
O	東方公園
P	佐江戸杉山神社、佐江戸公園
Q	勝田公園、勝田杉山神社、早淵公園、せせらぎ公園
R	源東院、東方天満宮、龍雲寺
S	真照寺
T	大熊杉山神社、淡島神社、江川せせらぎ緑道
U	自性院、在田南近隣センター、鴨池公園
V	江川せせらぎ緑道
W	江川せせらぎ緑道
X	横浜国際プール
Y	川和富士公園
Z	東方農業専用地区
AA	真照寺
AB	山田富士公園
AC	せせらぎ公園
AD	都筑中央公園、正覚寺
AE	山田富士公園
AF	北山田4丁目の街路樹
AG	福聚院
AH	源東院
AI	真照寺
AJ	センター南駅構内

